

平成 26 年度第 4 回日本科学教育学会研究会 (北陸甲信越支部開催) プログラム

[テーマ] 近未来の教育諸課題に応える科学教育実践への視座

[日 時] 2015 年 2 月 28 日(土)10:00-15:00

[会 場] 信州大学教育学部 自然科学校舎(西校舎)5 階 W505 教室(A 会場), W506 教室(B 会場)

[日 程]

09:30-09:55 受付

09:55-10:00 開会

10:00-11:00 研究発表 1

11:00-11:10 休憩

11:10-12:10 研究発表 2

12:10-13:10 休憩

13:10-14:10 研究発表 3

14:10-14:20 休憩

14:20-15:00 研究発表 4

15:00 終了

■プログラム

A 会場 (自然科学校舎 5 階 W505)

- A01 10:00-10:20 タブレット型端末を利用した同期型 CSCL による協同学習の効果に関する研究～edutab を用いた算数科「小数」の実践を通して～
○古屋達朗(西桂町立西桂小学校)・水落芳明(上越教育大学)・八代一浩(山梨県立大学国際政策学部)・水越一貴(株式会社デジタルアライアンス)
- A02 10:20-10:40 理科授業における子どもの予習と学習意欲の関係に関する研究
○高橋一哉(上越教育大学大学院)・桐生 徹(上越教育大学)
- A03 10:40-11:00 SSH 校における課題研究と発表会の連続性と課題についての考察
○森田直之・保坂勝広・鈴木憲征・阿部紗希・川端康正・早川信一・金田裕治(東京都立多摩科学技術高等学校)・中込秀樹(千葉大学)
- 11:00-11:10 休憩
- A04 11:10-11:30 授業のユニバーサルデザインの視点を取り入れた理科授業の有効性ー小学校 3 学年「こん虫を調べよう」の実践からー
○平澤林太郎(小千谷市立小千谷小学校)・久保田善彦(宇都宮大学)
- A05 11:30-11:50 聴覚障害生徒を対象とした情報モラル教育用ゲーミング教材の開発
○内野智仁(筑波大学附属聴覚特別支援学校)
- A06 11:50-12:10 教員養成段階の保健体育専攻学生が用いる指導ことばの特徴ー e-Learning による模擬授業のリフレクション課題を通してー
○藤田育郎・谷塚光典・結城匡啓・安達仁美・岩田 靖・平野吉直(信州大学)
- 12:10-13:10 休憩

- A07 13:10-13:30 『学び合い』授業と一斉指導教授型授業を比較した学力低位層への学習効果と継続性
○林 康成・三崎 隆（信州大学）
- A08 13:30-13:50 親子参加型科学教室における参加者の科学的リテラシーに関する実態調査その3
○小林紗耶香・三崎 隆（信州大学）
- A09 13:50-14:10 小学校理科の『学び合い』の授業における人間関係の良好な児童とそうでない児童のうち課題達成をした児童の会話分析
○酒井友輔・三崎 隆（信州大学）
- 14:10-14:20 休憩
- A10 14:20-14:40 小学校理科の『学び合い』の授業に現れた理科に好意的な児童とそうでない児童の会話ケース，課題達成の分析
○坂田あかり・三崎 隆（信州大学）
- A11 14:40-15:00 戦後の理科教育改革にみる日本文化に適した科学技術リテラシー教育と社会受容研究
○仲矢史雄（大阪教育大学）・中山 実（東京工業大学）・野原佳代子（東京工業大学）

B会場（自然科学校舎5階W506）

- B01 10:00-10:20 日本のエネルギー状況に関する大学生の認識とエネルギー教育の現状と課題
○鈴木久米男（新潟薬科大学）
- B02 10:20-10:40 サレジオ高専と海外教育機関連携の低速度通信回線による Web 会議システムを用いた遠隔授業の展開
○吉田薫史・竹内 想・花野紘平・三木克尚・伊藤光雅（サレジオ工業高等専門学校）
- B03 10:40-11:00 サレジオ高専とモンゴル高専との連携によるアクティブラーニングを活用した職業教育の実践研究
○伊藤光雅（サレジオ高専）
- 11:00-11:10 休憩
- B04 11:10-11:30 学習者がデジタル教科書を自作する授業実践における学習者の情報活用能力に与える効果に関する事例的研究
○荒井千尋・水落芳明（上越教育大学）
- B05 11:30-11:50 問題解決能力育成のためのプログラム作成に向けた学習法の提案
○下郡啓夫（函館工業高等専門学校）・大場みち子・伊藤 恵（公立はこだて未来大学）
- B06 11:50-12:10 理科授業検討会における参加者の発言に関する研究
○平野雄介（新潟県上越市立城北中学校）・桐生 徹（上越教育大学）
- 12:10-13:10 休憩
- B07 13:10-13:30 月の満ち欠けの理解度の向上に関する研究-スケッチを取り入れた授業実践を通して-
○渡邊悠也（上越教育大学教職大学院）・桐生 徹（上越教育大学）

- B08 13:30-13:50 「水溶液とイオン」における実験教材の開発と評価に関する研究
○吉田英男（岩手県立盛岡第四高等学校）・桐生 徹（上越教育大学）
- B09 13:50-14:10 デジタル記録とアナログ記録が併存した授業における学習者の記述の分析
～小学校5年「流れる水のはたらき」を通して～
○阿部貴央（上越教育大学教職大学院）・村松 賢（下條村立下條小学校）
・桐生 徹（上越教育大学）
- 14:10-14:20 休憩
- B10 14:20-14:40 中学校気象単元における露点や飽和水蒸気量についての理解度の向上に関する研究
○村松 賢（長野県下條村立下條中学校）・桐生 徹（上越教育大学）
- B11 14:40-15:00 教師の経験年数と理科授業の発話に関する研究
○嘉戸章人（上越教育大学教職大学院）・桐生 徹（上越教育大学）